

Chrome Enterprise で リモートワークを行うための 10 のヒント

1

ネットワーク設定でリモートアクセスを許可する

従業員が必要なデータにアクセスできるように、各デバイスのWi-Fi、イーサネット、バーチャルプライベートネットワーク(VPN)アクセスとネットワーク証明書のポリシーを適切に設定します。

[詳細](#)

2

Google のセーフ ブラウジング設定を確認する

従業員が不正なサイトにアクセスする前に警告を表示して、不注意な行動を防ぎます。IT 管理者は Google 管理コンソールでこの設定を管理できます。[詳細](#)

3

必要な場合にデバイスをリモートで無効にする

会社のデバイスが紛失または盗難にあった場合にリスクを最小限に抑えます。Google 管理コンソールから Chrome デバイスを直接

無効にして、発見した人にデバイスの届け先を知らせるメッセージを必要に応じて表示します。

[詳細](#)

4

Chrome リモート デスクトップで技術的な問題を解決する

Chromebook や Chrome ブラウザは使いやすいツールですが、問題が起きた場合、IT 管理者は Chrome リモート デスクトップを使ってリモートサポートを提供できます。[詳細](#)

5

強制的な再登録を有効にする

デバイスを管理下に置いて、設定を確実に適用するには、強制的な再登録を有効にすることができます。[詳細](#)

6

リモートワーカーが必要なアプリを使用できるようにする

Google 管理コンソールを使用して、各デバイスにアプリや拡張機能をインストールしてタスクバーに固定したり、特定のアプリをインストールできないようブロックしたりできます。従業員は、仮想デスクトップ(VDI)ソリューションを使用してアプリにアクセスすることもできます。[詳細](#)

7

画面ロックとアイドル状態の設定を確認する

アイドル状態が一定の時間続いたときに画面をロックするよう設定して、従業員の離席中にデバイスが不正に使用されないようにします。[詳細](#)

8

最適な更新方法を決める

自動更新を有効にして従業員のデバイスに常に最新のビルドを適用するか、テストしてから適用するかを決めます。どちらの方法でも、アップデートのダウンロードとインストールはバックグラウンドで自動的に行われます。[詳細](#)

9

管理ブックマーク設定を使用する

従業員向けのブックマークリストを作成して、内部インターネットページやHRなどのリソースに簡単にアクセスできるようにします。ブックマークリストは、管理コンソールを使用して各デバイスにプッシュできます。[詳細](#)

10

各プラットフォームの Chrome ブラウザを管理する

Google 管理コンソールを使用して、Windows、Mac、iOS、Android の Chrome ブラウザを管理できます。Chrome には組織を保護するセキュリティ機能が組み込まれています。[詳細](#)

